京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高本久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城新報社　京城西署西小門通（電話六六三）

寄書

警鐘の增置を望む

旭川

予は民團當局者及び警視廳就中居留民團に對して警鐘の增置を希望するもの也、少くも京城市中に五十箇所を增設せられんことを唱導するもの也。

民團當事者の如きは未だ今日に於ても十年或は十五年前以上の舊思想を持せるが如し、言ひ換ふれば居留地以外に居留民なきが如く思惟し、居留民團は居留地――即ち泥峴街附近にのみ着目し京城全市街に渉れる居留民の利害消長には大なる注意を拂はざるやの觀ありとなすもの決して予のみに非ざるべし現に警鐘增置は屢々居留地以外の居留民に依りて唱導せられ、希望せられたるも省みる所なきが如きに徵して明なりと爲さずや。

事實に於て當京城には一小區劃を限られたる居留地なるものは既に撤退せられたりと云ふを得べし、然るに民團當事者は毫も此れを之れ念はず、泥峴街を本位に置き、口を開けば居留地が居留地がと云ふ、泥峴街は成る程京城居留民の中心には相違なきも決して其の全部に非ざるを知らざる可らず。

十戸若は百戸を毒する大火災の如きは韓人部落に住する吾人と雖も其の時に於て或は自然に之れを知るを得べきも三戸若は五戸の小火災に至りては新聞紙に依りて初めて之れを知るもの決して少なからず、爲めに取引先及舊知の急に赴くを得ざるもの又多きを見る、而して其被害者數の多寡を以て大小を論ずるは愚なり、一戸と雖ども其の家を知れる者に取りては一大事なり、民團當事者は能ふべき範圍に依りて、成る可く速かに成る可く正確に、擴大せられたる一般居留民に非常を報知するの措置を取るを以て信切なりと爲さずや。况んや此の設備を爲すに多額の費用及び多大の手數を要せざるものなるに於てをや。

警視廳側に望む所は派出所每に設けられたる警備電話？を利用して火災ある每に之れを通報し民團の設備と相俟つて、明確に掲示板に其の場所を揭記せしむるの措置を採らんこと是れ也。

頃日壽町に火災ありしや余は附近派出所に驅附け其の出火箇所の何所なるべきやを問ひたるに、巡公は冷然として天に冲する火光を指し『彼所です』と答へたりき、所內に電話を有する派出所巡查の態度は果して斯くの如くにして可なるべきやを疑ひたるも其の滑稽なるに壓せられて口を緘して止みき、箇は實に其の一事例に過ぎざるも、要する斯くの如き滑稽事豈に一二にして止まらんや、警視廳側に向ふて切に之れを望む所以也。

兎に角此れは理窟の問題にあらず、故に予は如上の理窟は撤して、更めて此所に警鐘增置を切望して已まん也。

雜錄

北韓だより（一）

▲熾んなる明太漁　北韓唯一の特產物として全韓の需要に供給しつゝある明太漁業は近年衰微の傾向を示し斯業家をして多大の打擊を與へざるなくとも懸村に明太のみを目的として漁業に從事せし韓人は不漁の上に昨年以來の相場暴落明太漁區の住民をして恰も飢饉の狀態に陷らしめたるのみならず北韓一體の經濟界に大影響を及ぼし例年は後くとも七八月頃までには明太市場を閉鎖するを例とするも本年は十一月末に至り即新漁期の開始と同時に舊明太を漸く出荷したる始末なればこれより推測して韓國全体が如何に不景氣なりしを知るに足る然るに本年の新漁期の開始以來新浦の鹿湖を中心として數年來見ざる豐漁と且つ品質に於ても亦平年を凌駕する程にて每日の收獲高は目下の處數字上に明らかにする能はず、て新漁期に入りて去月二十八日に於て初めて生物の輸出を見たり品質佳良なるが故に相場も從つて順潮を呈しつゝあり

▲浦潮間航路最終期　從來北韓は元山を起點として浦潮斯德間の交通は郵船の立神丸、吉田汽船の晉羽丸、韓人所有の俊昌號の三隻の定期航路は月八回位の交通便ありしも冬期に於ける浦港は結氷する爲め氷破船を使用するにあらざれば入港する能はざるを以て各所有主も財政の都合上冬期間は浦港間の航路は何れも中止するを例とせしが本年の最終航路は二十二日出帆の俊昌號を以て最終とすれば浦港輸出の北韓牛もこゝ二箇月間は全く杜絕を見るに至るべし（社友報）

●鴨綠江流域の作業（營林廠報告）

十一月中鴨綠江流域に於ける作業狀況報告に依れば惠山鎭支廠各作業班に於ては伐木及運材作業に從事せり

▲流筏作業　は上流惠山鎭に於て十月六日限り發筏停止せしも當地着筏は本月廿六日を最終とす而して本月中着筏は丸角材一萬七千八百十九尺〆三萬柱五百二十五本小丸太百二十三本尺〆初より累計角丸材八萬九千七百六十尺〆五四・柱八千〇五十四本小丸太七千五百二十一本なり

▲豆滿江作業狀況　本流域に於ては途中停滯材の整理並會寧兵營建築材料の製材供給をなせり而して其十月中の製材成績左の如し

手挽　一、二六九尺〆　機械挽　三六尺〆
計　一、三五五尺
費消原木二、四二八、[illegible]　步留　五步六厘

▲原木料徵收　本月中本廠に於て徵收せし原木料は丸角材九六尺〆四九此原木料二十九圓〇四錢車軸四百八本此原木料百四十二圓三十八錢車輕二千五百九十七片此原木料三百〇一圓八十錢累計丸角材二萬八千五百五十四連四千六百八十四尺〆二九車軸千六百六十四〇車輕四萬一千三百六十片此原木料累計一萬八千五百八十二圓十一錢

▲木材販賣　賣却木材にして本月中代金納入の手續を了せしもの製材二千四百四尺〆代金一萬九千二百七十六圓五十錢丸角材二千二百七十四尺〆此代金一萬六百四十圓十五錢小丸太二十四本代金十一圓七十錢木屑金二千百七十三圓四十七錢代金計三萬二千百十圓九十四錢

▲製材成績（新義州製材工場に於ける）

第一工場	丸	一、二七、五八	
	角	二、九六四、五八	
步留	丸	四分八厘	
	角	五分九厘	
右消費原木	丸	二、三〇六、八六	
	角	四、五九四、一九	
第二工場	丸	一五六、四三	
	角	四〇、七四	

和歌募集

勅題「新年雪」

選者　丸島舘去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日　本社編輯局

俳句

△歳末五句　千春

人の厄拂ふ身の果て哀れなり
懸乞に來るや小町のやうな鬼
煤掃くや塵から富んだ家ながら
持てぬ程買ふたが可笑し年の市
錢買りも雨は斷らす年の市

日本銘刀傳

第五席　邑井一講演

翌日饒舌の弟子が一人飛んで來て　弟『れ女房さん、忙がしいのでつい伺いませんでしたが、何うでございますか御病氣は……　秋『ハイ、難有う、今日は大きに癪がなくなつて、いくらか樂になりました　弟『それやア結構でございます、ときにれ女房さん、今度御全快になつたなら、少しは五郎さんを可愛がつて上げて下さいまし　秋『をれ言ひだね、改たまつどそれ言ひなの　弟『ナニりません、今仕事場で昨夜此寒いのに五郎さんを浴びて、高宮稲荷を念を縮めてもれ女房さんのと云ふ祈念を籠めて居たとやら、一同其話を聴いて泣きました、五郎さん程の孝子は鎌倉に二人とはあるまいと思ひます、何卒目を掛けて上げてれ呉んなさいまし　秋『オヤさうかい、能くまア夫れでも私を思つて呉れる、一寸五郎を此所へ呼んでれ呉れ　弟『へー五郎さん、五郎さん御母さんが御用でげす　五『ハイ』五郎は親父の留守には母親を恐るゝこと疫病神のやうだ、相憎今日も父親は留守でございますから、恐る〳〵兩手を突いて　五『何御用でございます　秋『五郎や、もつと前へ御進み……』まだれ秋は病ひの爲めに音聲が立たぬ　五『ハイ』　秋『あのねれ、れ前は毎晩水垢離を取つて高宮稲荷を拜んで、私を祈殺す了簡だらう　五『エッ、何う致しまして……　秋『イーエ夫れに違ひない、さア祈殺すなら祈殺して御覽　五『れ母さん、勿体ないことをれ仰います、何でれ母さんを祈殺すものじやありません、飛んでもないことを……　秋『れ母さんとは何んだ、其樣我儘息子を持つた覺はない、見れば見る程惡くらしい其顔面……』と突如、五郎の襟髪を攫み、傍にあつたる藥鑵を取るより早く、打々擲止と打ちまする所へ驚いて大勢の弟子達が飛込んで來て　弟『是れは何う云ふものでございます、飛んだ番狂はせだ　弟乙『私共が證人でございます、飛んだことをなさいます　丙『五郎さん、早く仕事場へ御出でなさいまし、オヤ〳〵大變額から血が流れる』五郎は額の血を拭きながら仕事場へ往きました　甲『誰だ昨夜の一件を喋舌たのは　弟『俺だ……昨夜の一件を話したら、少しは鬼の角が折れるだらうと思つて　甲『何折れるものか段々增角が出る許りだ　乙『五郎さん勘辯して下さい、私たつてれ前さんの眉見へ傷を拵へてわッ譯ちやアねえ　甲『そりやそうだ、馬鹿に眼立眉見の疵だ、親方にさうれ言いなさい、私共が證人に立ますから　五『有難いが私が父上に夫を言とれ母さんへ叱言が出る、れ母さんが彼の御氣性だから親父に當りが惡い、さうすると家内が騷々しくなる、何稼業でも家内が不合では繁昌はしない、私さへ堪へて居れば宜いのだから何うか此事は内密にして下さい　甲『あゝ恐れ入つた、孝行だ五郎さんがさうなら親方には默止つて居やう、泣な外聞が惡い……　丙『手前だつて泣いて居る癖に……』　甲『呼ぶより罵言れだ、親方が歸つて來たぜ涙を拭いて置け　甲『れ歸んなせい　乙『へイ親方れ早くれ戻りで……　行『何んだ手前達の面は言合したやうに眼の側を眞黑にして　甲『へイ……ヲー……ヤイ誰が何とか言つて呉れ

甲乙が仕事の手で涙を拭いたので氣が付きやア不思議の面だア　乙『あんまり炭がくすぶるものですから煙くて涙が出たのです　丙『矢張夫婦の情愛で、安い炭を買ふから　行『何んだと　甲『ナアに此方のことで……　行『愚にも付かねえことを言つて居やがる　五『れ父さんれ歸んなさいまし　行『アゝ今歸つた、オヤ、五郎、額の疵は何うしたんだ』



本宣言書は廿一日午後八時當地商業會議所樓上に開きたる在京城日本人新聞記者團總會の可決發表したるものなり

宣言書

東洋の平和を保持し韓半島一千萬の蒼生に文明の恩澤を分ち生存の幸福を與へ以て世界人道の爲めに貢獻せんと欲するは我帝國の國是にして夙に內外の認識する處なり、而して吾人は我國是を遂行する爲め前後三千歲遼遠なる歷史と深甚なる因緣を有する日韓關係に最後の解決を下すを以て兩國の親和幸福を增進する最善の方法なりと信ず曩に我帝國が韓國保全の爲め悽愴慘烈なる二大戰役を冒し鉅億の財幣と百万の生靈を犧牲に供したる實に此國是を完成せんが爲めに外ならず然るに韓國に對しては始め其獨立を認めたるも積年の弊政上下に浸潤し到底自立の力なきを認め明治三十八年十一月遂に之を我保護政治の下に抱擁して爾來五星霜、外交を監理し內政を指導して今日に及べるが韓人の頑迷曖昧なる屢々我誠意ある保護指導を排して宗主國に反抗せんとし暴徒の橫行今尙熄まず我居留同胞を慘害すること擧げて數ふべからず其他前に海牙の密使事件あり近くは哈爾賓の伊藤公兇殺事件ありて我保護政治の前途を誤らんとするを以て吾人は當時我官憲に向ひ日韓關係の進展を獻策し根本的解決を斷行すべしとて前後二回の決議を發表したり蓋し世界の強大國が自主獨立の能力なき弱小國を併せ文明の德政を布き人類の幸福を進めたるは古今東西の歷史に其類例乏しからず殊に利害共通の關係尤も密接せる日韓の如き最も密邇せる關係を有する兩國が勢の趨く處遂に合併の止むべからざるは中外の與に之を期したる所にして吾人の主張する日韓關係の根本的[illegible]するものなり而して本年九月一進會[illegible]大韓協會西北學會は三派の聯合を形成[illegible]し政治上の活動を企てたるに偶々藤公兇變の報北漢の一方より飛來し韓國の朝野を震駭せしめ官民共に其善後策に狂奔するの餘り三派は各自個々の對策を試み遂に十二月三日最終の政見協定委員會に於て意見の衝突を來し分裂の止むなきに至り翌四日一進會は單獨にて日韓合邦を聲明し京城政界に一大波瀾を淘湧せしめたり然るに一進會が何故に俄かに他派との提携を斷ち爾かく急激突飛なる行動に出でたるか其深因を深究するに多年一進會に關係を有する一部浪々者流あり突然東京より來り大言壯語を放ち日本政府の意志既に韓國合併に決せる由を一進會長李容九西北學會首領鄭雲復等に遊說し豫て計劃せる一進會の合邦運動を此機會に於て斷行すべしと煽動し一進會が漫然之等策士の言を信じ輕擧盲動大事を誤りたるは深く同會の爲に惜む處なると共に策士等が或は桂首相より出兵の準備成れりとの電報達したりと誇稱し或は寺內陸相より一進會をして擾亂せしむる勿れとの傳言ありたりと放言し其他臺閣諸公の名を假りて幼稚なる韓國政客を煽動教唆して壯擧の時機を誤らしめ更に新聞記者をも欺瞞せんとしたるが如き不謹愼の言動に至りては苟くも國家の大事を遂行せんとする者の爲すべき所業に非ず吾人は冷靜の見地より彼等の小策を看破し其行動を目して一場の茶番狂言に過ぎずと冷評し去り彼の徒らに事功を急ぎ名利を貪る一進會及其黨與が時機未だ熟せず輿論未だ定まらざる時に當りて突如平地に波瀾を起し一蹶再び起ち難き失敗を醸すを是れ恐れ言論の權威を擁ひ彼等に警告を與ふると共に世人を誤らざらしめん事を努めたり果然一進會の合邦提議は各派團体の大反對を受け京城の天地は忽ち鼎の沸くが如く一たび伊藤公の兇變に驚駭したる人心は更に合邦問題に逢着して一層の危懼心を起し相率ひて排日氣勢を昂騰せしめ紛糾混亂の狀態を現出し之を小にしては親日黨を以て標榜[illegible]に陷らしめ之を大に[illegible]促進を妨害するに至[illegible]哭痛嘆措く能はざる[illegible]厚顔なる事敗れたる[illegible]讒誣虛構の流言蜚[illegible]なる心中寧ろ憫笑に[illegible]して一進會の運動は[illegible]其の合邦提議も有耶無[illegible]んとす若し成敗の結果[illegible]疑消長に影響し二三[illegible]關係するものならば[illegible]國家の重要問題に關[illegible]て至大の關係を有す[illegible]之を雲烟過眼し視する[illegible]合邦を提議せし後[illegible]大臣李完用は身乘政[illegible]ら種々陰險なる術策[illegible]政論を鼓吹し元老團及[illegible]慨激越なる合邦反對[illegible]を迫害し一齊に起つ[illegible]興瀾漫に全力を盡す[illegible]論者は此大勢に左右せ[illegible]表を逡巡しつゝあり若[illegible]儀に放棄し置かんか[illegible]しからんとす茲に於[illegible]の奮起を促し以て時[illegible]負の抱負を實行せんと[illegible]韓合邦は其內容實質鮮[illegible]曖昧姑息なる合邦は吾[illegible]るものに非ず故に吾[illegible]世界の大勢に則り入[illegible]文明の德化に浴せしめ[illegible]し可憐なる韓國一千萬[illegible]日韓關係最後の解決を[illegible]提唱し天下の同志と共[illegible]的の貫徹に奮勵努力せんことを期す

在京城日本人新聞記者團

東京電報

▲貴族院議員勅選

本日左記諸氏貴族院議員に勅選任命せらる(廿一日發)

京都府知事 大森鍾一
村上敬次郎
外松孫太郎
安立綱之
實業 澤柳政太郎

▲日英博と渡英團

實業聯合組合は二百名の實業家より成る日英博覽會渡英團体を組織せり(同上)

▲中旬貿易の出超

本月中旬の海外貿易は四百四十三万二千圓の輸出超過を示せり(同上)

▲貴族院內の玉座

過日來修繕中なる貴族院玉座は既に落成し昨二十一日北條侍從近藤秘書課長の檢分を經たり(廿二日)

▲產業調查と官制

農商務省は生產調查費として四萬圓を豫算したるが之が實行の制度は貴衆兩議員當局者實業家約八十名の委員組織とし農商務大臣管理の下に商農工の三部に分ち先づ北海道の調查を爲す筈なり(同上)

▲議會開院式擧期

二十四日の豫定なり(同上)

▲砂糖事件の餘波

砂糖稅詐欺事件は審理の結果附帶せる犯罪發覺せるもの新に五件に及び從來知れざりし多數の高官に連累者あるやの廉あり(同上)

歐州電報

▲三國同盟と伊國

新任伊太利總理大臣ソンニノー伯は議會に於て演說して曰く三國同盟は單に平和の保障たるのみならず又伊太利の利益を確實ならしむるものなりと言明せり(廿一日)

紐育電報

▲クック博士終に窮す

クック博士は今に見出さず彼の報告書はコッペンヘーゲンに於ても是認せられざるより彼は永久に姿を現はさざるべしと(廿一日)

雜報

記者團の總會

京城日本人新聞記者團は廿一日午後八時より其總會を商業會議所樓上に開き熊谷國民特派員を座長に推し別欄所載の宣言書を可決し同時に左の決議を爲したり

決議

一進會の提議せる日韓合邦は其內容實質鮮明を缺く斯かる曖昧姑息なる合邦は吾人の理想と一致せるものに非ず故に吾人は世界の大勢に鑑み人道の本義を重んじ可憐なる韓國一千萬を救濟して文明の德化に浴せしめんが爲め進んで日韓關係最後の解決を斷行せんことを提唱す

明治四十二年十二月廿一日

在京城日本人新聞記者團

因に總會の出席者は在京城各新聞通信雜誌社の代表者及び內地新聞通信特派員の全体なり

東京電報

▲兩院議長と待遇 (貴衆)

兩院議長の宮中に[illegible]待遇は各議長は親任官、副議長は勅任官に準じて待遇することに決定せり(廿二日)

●取消 拜啓貴社益々御隆盛奉賀候却說先般貴紙に馬山商業會議所の存廢に就て居留民が目下凝議中なりと掲載相成り候へ共當地に於ては會議所議員及會員間に於てはかゝる凝議など更に無之全然無根に就き右記事御取消被成下度此段及御依賴候也 明治四十二年十二月十七日 馬山商業會議所會頭 藤崎供秀 京城新報社御中

●天氣豫報(自廿二日午後六時 至廿三日午後六時)

北東の風晴後曇

廿一日(華氏) 最高溫度 三六、九 最低溫度 二六、二

時局問題研究會

廿一日商業會議所樓上に開きたる新聞記者團總會決了後當夜の出席者戶叶氏の提議により時局問題研究會設立相談會を開き峯岸京城新報社長を座長となし種々討議の後同會設立の件を可決したり尙委員若干名指名の件を座長に一任し午後十時無事閉會せり

豫算決定と發表

韓國來年度の豫算は愈々今二十三日の閣議を以て決定の筈なるが之れを本年度の豫算に比すれば各部共多少の增額にて度支部のみは減少せり之れ本年度に於て國債償還金二百萬圓を計上したるも百萬圓を償還し殘額百万圓は明年度に繰延べたるを以てなり而して廢止されたる軍部及法部の豫算は勿論計上せざるも之れを存立の者とし本年度の豫算を襲踏するものとせば各部を通じ來年度は本年度より百萬圓以上にして明日以後に於て發表さるべし

勅使首相邸に參向

別項李完用遭難の趣き聞召され韓皇には直ちに侍從院卿尹德榮を勅使として同邸に遣はし慰問せられたり

羅南と淸津近況

羅南は例の兵營の擴張と共に頗る景氣引立ちたる觀あれど其實同志喰激しく其住民も概ね南韓地方を喰詰めたる者多ければ孰れも極端なる今日主義を赤裸々に露呈し名譽若くは義務の觀念極めて稀薄なれば警察事故頗る頻繁なり殊に支那苦力及韓人勞働者等多數なるも韓人は一般に懶惰にて一日の糧を得れば一日惰眠を貪り數日の食を剩せば數日遊食する有樣なれば支那苦力の方氣受け能く之が爲め淸韓勞働者の間に軋轢絕えず始終勞働問題の爲めに困しめられつゝあり更に淸津の景況を視察したるに同地は羅南の如く空景氣に富まずと雖內容は却つて豐富なるが如し第一羅南兵營に要する物資は悉く淸津の市場を經由し會寧の需要も概ね淸津より供給せられつゝあり更に間島に於ける淸兵の食用雜穀は之れ又淸津より輸送しつゝあれば商況は殷盛を極め人氣極めて能しと云々と同地方視察より歸來せし某警視は語れり

東拓の移民計畫

(某東拓社員の談)

創立以來不鳴不蜚徒らに一年有餘を經過し世人をして其存在を疑はしめ居る東拓會社の移民計畫に就き同社某社員の談によれば世人は漫然吾社を評論し無爲無能何等方針なく無比の利權を獲得し多額の補助を貪食し居る如く痛罵せるも遙莫拓殖事業は百年の前途を策して經營の要あり故に豫備調查に多大の苦心と長期の時日を費さざる可らず眼前の光彩陸離たるを得ざるは畢竟之が爲めなり然れども既に其方針は確定し此社是の下に漸次步を進めつゝありて韓國出資の驛屯土整理と西韓漁區經營の方法決定の上は吾社設立の大目的たる移民計畫を實行すべく着々準備中なり而して移民の種類に就ては未だ調查決定せざるも要するに我が國民の狀勢と韓國の風土とを研究して万遺算なからん事を期し居る事勿論なり之が實行期は今茲に明言する事能はざるも來春三月頃の豫定にして其際は各府縣知事に照會して移住民奬勵の訓諭を發せしむべし兎に角實施の結果に於て公明なる批評を待たんのみ彼の嘖々たる現在の痛罵は吾が社の眞意を解せざる盲評として一笑に附し居れり云々(電通)

●仁川會議所役員會

仁川商業會議所は一昨二十一日午後二時より役員會を開き審議の結果穀物輸入稅增率反對運動委員東上の件は一應統監府に交涉の上場合に依りては派遣するに決し尙は京元鐵道敷設委員東上の件は前同樣統監府に打合せの上決行する事に定め龍出利吉外數名よりの提議に係る漢江流域浚渫請願の件は會議所より其筋に同願書をば進達する事に決議し穀物協會前海濱浚渫に關する件は假令浚渫すると雖も幾干ならずして現今の如く埋沒するは必定なるを以て寧ろ現在の棧橋を擴張して穀物の揚卸に便ならしむる方得策ならんとの議論出で結局協會に交涉の上右何れかの請願書を仁川稅關長に提出する事に決定して散會したりと云ふ

●全南方面教育狀態

忠淸北道、全羅南道の兩方面に出張中の學部伊藤、山內の兩主事は昨日歸任せしが其談に曰く全羅南道全州の敎育養英の兩私立學校は僅に公立を凌駕し居れど他は財政困難なる爲め不規律極まるものなるが該地方は市場稅を地方費に取られたるを以て收入減じ殆ど維持に苦しむ有樣には公立と雖も非常に苦痛を感じ居れり只全北のみは他より充用する途をたてあり何の痛痒もあらずとか一般學生は日語研究熱盛んなるも宗教觀念は頗る乏しきとか

●地方司法官の歸任

司法官會議に列席の爲め入京せし平壤控訴院檢事長向井嚴、大邱控訴院檢事長黑川穰、同院長土井庸太郎、同地方裁判所檢事正北村五七郞、同判事松下直美、公州地方裁判所判事勅使河原健之助光州地方裁判所長玉置璦、釜山地方裁判所長島山虎也太、同檢事正吉田雄六郎、海州地方裁判所檢事正青木幹造同所長西平等の各司法官は一昨廿一日何れも任地へ向つて出發したり

●白銅貨交換の成績

舊白銅貨は愈々十二月末日を以て通用期限滿了に付度支部に於ては曩きに全道に十一の出張交換班を派したるが今日迄に歸任せざるもの尙二三あり而して出張交換の成蹟を聞くに一班に付約千圓以內の豫定なりしに其成蹟は大約二三百圓なりと始め交換班は面長、郡守等を介して交換を爲しつゝありしも後戶々別々に付き交換を促かしたる次第なれば今后の成績は頗る良好なるべく全道を通じ殘り居れる白銅貨は二三十万圓なるべしと云ふ

●進永日本人會紛紜

去る九日進永日本人會長の選擧あり在留宮城縣人橫澤鍛五郎氏當選したるが同人は韓婦人を妻とし一定の職業もなく居留民の評判至つて惡るく評議員一同は同氏の就職するに於ては袂を連ねて辭職すべしとて大に憤慨し居れりと

●白耳義皇帝追悼會

廿二日午前十一時より佛國敎會堂にて白耳義皇帝レオポルト陛下追悼式を擧行したるが統監府よりは石塚長官佐竹國分兩秘書官外波石井兩武官池邊書記官小松外務部長代理各參與官等參列す

●獨國領事の茶話會

二十日獨乙總領事館に於て同國士官へン氏の招待を兼ね英、佛、露各國總領事夫妻、米國總領事、大韓每日申報社長マナキ其他を招きて茶話會を催せり

●幹事の辭任と囑託

愛國婦人會役員俵、津輕、外波の各夫人は當番幹事として盡力中なりしが任期滿了に付本部長より若林、井上、菱田古城の各夫人に當番幹事を囑託せり

●輸入稅反對の調查

穀物輸入稅引上案に對する反對材料蒐集の爲め統監府より安藤堅次外一名は先日來仁川に滯在し各方面に涉りて精密なる調查を遂げつゝありと

●遭難と其筋の警衛

今回李總理大臣遭難の報あるや其筋に於ては憲兵及巡查を李總理邸を始め各大臣邸其他に配置し警衛頗る嚴重なり

●荻野文學博士出發

滯京中なりし東京帝國大學文科大學敎授文學博士荻野由之氏は同助手文學士今西龍氏を隨ひ一昨日出發歸東したり

●榊原憲兵隊長歸京

大邱分隊管內巡視中の榊原憲兵隊長は廿二日午后八時南大門着列車にて歸京

京城民團の紊亂

(第二の大阪市役所乎)

京城民團役所にては去る二十日付を以て突然課長黛宇太郎及び徵稅課屬戶田登、同橋本六助、同木田平藏、同白濱千春、同末廣幸作の六名を解職したるが右の中三四名は在職中に犯罪の嫌疑ある趣にて二十二日南部警察署に召喚せられて取調を受けたるが或は餘波の及ぼす所頗る廣かるべしとの說あり

韓國米の收穫高

本年各地に於ける稻の新穀[illegible]農商工部に於て調查したる處に依れば韓國の米穀收穫總額は八百三十九萬四千九十一石餘にして之れを前年に比すれば四十萬七千五百七石餘(前年の五步一厘增)の增額なり其明細表左の如し

道府名	收穫高
△漢城府	六、0七五、000
△京畿道	[illegible]
△忠淸北道	三二六、000、000
△忠淸南道	五五八、三00、000
△全羅北道	八五0、六四0、000
△全羅南道	九00、000、000
△慶尙北道	六二三、五六八、000
△慶尙南道	二、一0九、一五0、六八0
△黃海道	九五0、000、000
△平安南道	六六九、五三六、000
△平安北道	二六五、四七0、000
△江原道	二五五、五00、000
△咸鏡南道	三八三、八00、000
△咸鏡北道	二五、000、000
計	八、三九四、0九一、0四

●仁川の金融界

仁川に於ける歲末金融界の動靜を聞くに當地方唯一の產出品なる穀物の出廻り頗る頻繁なる爲め隨て之等の方面に對する資金の需要は著しく增加せりと雖も前年來不景氣の餘波を受けて未だ恢復の季に入らざる爲め新事業勃興せず伸ては自然一般的資金の需要薄く市內全般の金融潤澤ならず例年に增せる緩慢の狀態を呈し居れり金利は普通三錢にして約一厘方の下落を現はし居れるが這は本邦に於ける金利の低下せしと加ふるに韓國に於ては資金の需要少き爲め期せずして不知不識の裡に斯かる現象を呈するに至りたるものなりと云ふ

●仁川の穀物界

仁川に於ける穀物界は出廻り依然として好況を呈し居れるが其內にても大豆の如き五圓五十錢迄騰貴したる爲め本邦への輸出は不引合となりたるに依り茲許一寸手控への觀あれど米は比較的現今安直を現はしつゝある爲め來年を見越買するもの夥しく之れが爲めに伸ては同地の倉庫界の如きは非常なる潤澤の姿にあり

●中野氏の送別宴

統監府屬たりし中野氏榮轉されたるに付一昨夜午後五時より淸華亭に於て其別宴を張り國分佐竹兩氏を始め秘書課と主とし各部よりも參會者ありて頗る盛宴なりしと

●內田氏の歸京期

滯京中の內田良平氏は今二十三日歸東すべき筈の處李完用事件に付形勢觀望の爲一時延期す

●各地典獄等歸任

豫て入京中なりし大邱監獄典獄神尾虎之助、平壤同三井久陽、釜山同山田虎一郎の三氏は一昨二十一日何れも出發歸任したりと

●加藤中尉の歸任

久しく咸鏡南道に出張中なりし京城憲兵本隊附加藤中尉は廿一日午後南大門着列車にて歸任

●獨逸大尉の出發

廿一日仁川發高砂丸にて獨逸大尉ヘンツ氏大連に向ふ

●木下技師の入京

統監府技師木下重松氏は廿一日入京浦尾旅館へ投宿す

●河村技手の入京

度支部臨時財源調查局技手河村寬治氏は廿一日入京す

●安武辯護士退京

入京中なりし辯護士安武千代吉氏は廿一日出發退京す

●原法學士の出發

滯京中なりし法學士原邦道氏は廿一日釜山へ向ひたり

●上林課長の入京

度支部書記官開城稅務課長上林敬次郎氏は廿一日入京

平壤通信(十七日發)

●昨今の砂糖商況

平壤に於ける砂糖は日本砂糖と香港製品の二種を主とせるが一時二者の競爭激しく之が爲め殆んど元價に近き價格を以て賣捌き尙一箇月或は二箇月の延取引を行ひつゝも元來砂糖は利益少く僅に一俵二十錢餘位なるに一箇月以上も延引をなす時は自然金融の上に影響し又掛倒れとなる事もありて損失甚だしきより其后各店とも競爭の不利益なるを悟り不言の內自から競爭に止みたり而して目下の相場は一百斤俵日本製糖四溫イ一印九圓五十錢同エッキス印九圓二十錢三溫ケ一印九圓位とし香港品は是等と同程なるも何れも一俵二十錢方の安價なり因みに平壤に於ける一箇年の砂糖需用高は平均一萬俵にして韓人其七八部を占め日人は其二分を需用するに過ぎず

●財務官主事會議

平壤財務監督局管轄平南、平北、黃海、三道に於ける各財務署財務官及び日本人主事會議は昨日より三日間の豫定にて當平壤財務署內に於て開かれたる度支部よりは事務官平野與次氏臨席し昨日の出席者は財務官三名、主事三十二名なりき因みに同局管內財務署にて財務官を置けるは平壤、義州、海州の三箇所にして他は主事のみなりと

●會計事務の練習

平南觀察道にて去る十八日より廿二日の五日間管內各郡衙の會計主任を招集し會計事務に就ての練習をなしたり(通信員)

京城電報

▲兩院議長と其待遇 兩院議長の宮中に於ける待遇は各議長は親任官、副議長は勅任官に準じて待遇することに決定せり（廿二日）

首相李完用刺さる

▲犯人は平壤生れの青年▲首相は二ヶ所負傷し車夫は即死す▲兇器は短刀、短銃も所持す

▲教會前の慘風 韓國總理大臣李完用氏は昨二十二日午前十一時佛國教會堂に於て執行されたる白耳義皇帝陛下の追悼式に臨場し式終つて同教會の門前に出で將さに乘車せんとする際一人の斷髮せる韓人立ち現はれ長さ九寸餘の朝鮮刀を振り翳ざし先づ李首相の腰に一刀を浴びせ返す刀にて右肩部をシタヽカに刺し尚も兇行を逞ふせんと猛り狂ふを護衛巡査宮武孫太郎氏は兇漢を後方より抱き止めしかば首相の抱車夫朴元文は前面に廻はり兇器を奪はんとして肋骨を刺され悲鳴を揚げて首相邸に向ひ約一丁程を匍ひ行きしが遂に永樂町一丁目統監府特許品陳列所前に於て絕命したり、而して一方宮武巡査は此體を見て最早是迄なりと帶劍を引拔き兇漢の右足部に一刀斬付けしに流石の兇漢も堂と其場に倒れたり

▲首相邸の混雜 負傷せる李完用は多人數にて同教會よりは程遠からぬ永樂町一丁目の官邸に運ばれ直に大韓醫院長菊地博士を招き應急治療を施したるが斯くと聞きたる日韓兩官民の重なる人々往訪引きも切らず頗る混雜を極めたり尚は李氏の負傷は割合に重傷なれば生命或は覺束なかるべしと云ふ

▲犯人の素性 兇漢は平安南道平壤生れにして李在明（二三）と云ひ曾て米國に渡り本年七月漸く歸韓したるものなるが朝鮮一流の政治熱に浮かされたるものか時局問題の爲め大に憤慨し一昨二十一日來京南部笠井洞白召史方に宿泊し昨日李完用が白耳義皇帝追悼會に臨みしを待受けて兇行に及びたるものなり而して宮武巡査の爲め刺さるゝや多數の人々に擒がれ首相邸の巡査詰所に送られ一應の取調べを受けたる後輿に載せて警視廳訊問課に護送せられたり、當時の彼れは頗る沈着を裝ひ居りしが顏面は流石に蒼く又風采は頗る揚らず一見勞働者風なりし

▲紛々たる流說 李完用が刺されたるは曩きに哈爾賓に伊藤公を狙擊したる一味とも云ひ或は一進會側とも云ひ或は有力者の煽動を受けてなりとも云ひ流說紛々更に取止めもなき有樣なるが詳細は其筋の取調中なれば今俄かに發表するを得ざるも兎に角政治的意味を有するは勿論なりとす

▲車夫の弟狼狽 抱へ車夫朴が横死を遂げ首相邸に運ばるゝや同人の弟某は殆んど半狂亂の有樣にて邸内を驅け廻はり居りしを一室に詰込みて漸く取鎮めたりと而して此兇變に際し最も同情すべきは前記の車夫にして主君の害を防がんとして遂に毒刃に斃れたるは朝鮮人にしては珍らしき男と云ふべく之れを彼のハルピン停車場にて伊公兇變の際何等の護衛的行爲なく逃げ廻りたる高官連に比すれば天地の差ありと云ふべし

▲總理遭難の別報 李總理の負傷は左肩胛部內側に一ヶ所深さ十仙米突長さ六仙米肺部に達し右脊部側に二ヶ所一は腎臓に達し一は腰部に長さ五仙米突深さ六仙米突にして出血は比較的少量なりしも內出血の疑ひあり一時は体温も下降せしが漸く二時頃より僅かに昂騰し頗る危篤に瀕せり

▲犯人の動勢 兇漢李在明は一ヶ月前より京城に居住せる養心學校生徒吳仁星を妻として入り込み同家に宿泊し居り二十二日夜は二人の男を供ひ同方に一泊し昨朝より佛國教會前に架を燒きつゝ李總理の出入を伺ひ居たり

▲李在明の妻引致 兇漢李在明の妻吳仁星と云へるは西部司澤院后洞の養心學校生徒にして年齡二十一歲旺髮のハイカラにして容色は秀麗なるが李の兇行あるや直に洞峴分署に引致せられ目下取調べ中なるが彼が素性に就ては精探の上報道すべし

又々玄海洋の投身

▲投身者は韓人留學生 去る十九日下關を發して二十日朝釜山に入港したる關釜連絡船壹岐丸に下關より乘船せる韓國人にて乘船名簿には「日本留學生允周鎬（二十）」と記したるもの廿日朝六時より七時までの中に船尾甲板に於て着用せし衣服を脫ぎ棄てゝ終に對州沖の海中に投身し底の藻屑と消へ失せたるが其遺留品としては唯だカバン一箇在中に書籍類數十冊にして其他遺書等なく又書籍に印章の押捺しある所は故らに破棄し居りたれば素より乘船する際覺悟を定めしものゝ如く其他の手掛りなければ死因を確むること能はざるも此韓國青年は渡日中の宋秉畯を殺害せんとして渡日せしも遂に意を果さず爲に空しく歸韓するを潔しとせずして遂に斯の如き所業をなしたるものなるべしといふも疑はしく所持書籍に押捺したる印章を破棄しある點を見るも其生死に疑ふべき餘地は充分なるを信ず、兎に角玄海洋は馬鹿者どもの掃溜めとなつたる感あり笑止千萬のことゝいふべし

▲意外の狂言沙汰▼ 輪姦強奪の眞相

詳細報導する所ありたる釜山號砲山に於ける輪姦と強奪沙汰近時の大事件に付ては十九日夜釜山警察署に於て能勢豫審判事野尻檢事等は渡邊警部等と共に殆んど徹夜にて取調ぶる所ありしが本八岡キクノの申立てに付て不審の點多ければ其眞相に關して係り官を取調べに窮したるが意外にも同人は草梁市川某なるものより金五圓の借金ありて之れが辨濟に窮し爲めに一時的の狂言を演じたるものなりと自白し全たく事實の眞相を確むるを得たり元來同人は曾て仁川にても斯くの如き狂言をなし仁川警察署を騷がしたることは既記の通りなるが前後二回に渉りてかゝる狂言をなしたるは本人の精神に異狀を呈し居るものなるべしと思はるれど醫師の診斷に依れば何等の異狀を認めざると云ば全然大膽不敵の奴と云ふべく而して同人は同警察署に留置しありしも二十日午後將來を嚴戒の上放還されたり

●船員の無錢遊興 仁川港に碇泊中の漁船濱川丸乘組員前川盛高（二五）と云ふは一昨夜同地花町の飲食店二日月亭に登樓して飲めや謠へと大散財を爲したるが財布に相談せざりし天罰は的面之れが遊興費四圓三十錢の支拂ひ出來ず其場は言葉巧みに拔出でゝ本船に立歸りたるもの同亭主は思惑外れの腹癒せに警察へ訴出でたれば警官本船に出張して說諭を爲したる結果事務長より出金する事にして事濟みたり

●廣告代金の告訴 本町裏通二十一番戶居住高橋淸吉（四二）といふは去る十一月十三日國民新報社に金櫃の廣告を爲し五圓の廣告料を支拂はず遂に一昨日同社集金係李聖澤（二五）より南部署に告訴せられたるを淸吉は廣告料五圓は一ヶ月分にあらずして一ヶ年分の考へなりしため支拂を延期せし次第と辨解せしも署長より其不心得を諭されて結果支拂ふことにして引取りたり

●下女の保護願ひ 原籍石川縣金澤市菊川町市松三女荒川薫（二三）は本年九月渡韓して京城龍山等の商店へ下女奉公しゐたるも脚氣病に罹り昨今病氣益々重くなりて奉公も出來難く貯財や知己さてもなく生活困難なれば相當保護ありたしと一昨日南部署へ願出でたれば民團役所にては一應取調べの上行路病者として保護を加へ居れりと

●クリスマスと教會 京城基督教青年會にては來る廿五日同祝祭開催の筈なりしも各教會に於て同樣の催あるに付重複を避けて各會員の住所に應じ最寄教會へ招待する都合なりと▲旭町二丁目日本メソヂスト教會にては來る廿五日夕七時より同會堂に就て同祝祭會開催の部合にて去る廿日付木原牧師の名を以て各所に招待を發せり

●明治町の勸商場 當地に從來一の勸商場を有せざりしが今回三輪唯八氏は明治町一丁目の好位置に二階建百坪賣店舖數七十二を設備せる大勸商場を新築し工事も落成せしに付來る二十八日より開場の豫定にて同場內出店は總て正札附となす事となりをれば顧客充滿の繁昌を見るべし

●壽座本日の藝題 今廿三日同座の藝題は悲劇『母と子』全六場と据りたるが同一座はかねて當地に馴染深きことゝて歲末多忙の際にも拘はらず相當の觀客を引き付け居れりされば座員一同も此の眷顧に酬ゐん爲め大車輪の活動實に目覺ましきものなり

●新町の健康診斷 一昨日新町遊廓健康診斷所に於て娼妓の檢梅を行ひたるに入院者八名を出し受診者百九十八人の內健康者は百六十三人なりしと

●一昨夜の新町 新町遊廓の嫖客は九十九人にて散財額五百廿一圓廿三錢

各地の新聞

▲熊本農校長入水 十五日別府を發し十六日朝門司入港の商船鏡川丸船客中周防灘にて投身せるものあり調査の結果熊本縣球磨郡球磨農學校長山中重彌なること判明せり自殺を覺悟し乘船せるものゝ如し

▲柿一ツと米一合 福島縣會津地方の農家は米價暴落のため疲弊其極に達し特に昨今積雪二尺以上なれば屋外の業務をも爲す能はず孰も青息吐息の有樣なり同地方湊村邊にては柿一つ一錢內外なるに米は僅かに一合九厘

▲知事排斥の叫聲 愛媛縣知事排斥の聲益々高く同地發行の各新聞は至誠なき知事暴慢なる知事陰險なる知事縣是を破壞する知事との惡罵を以て排斥を絕叫しつゝあり

▲故藤公の片身分 故伊藤公薨去に付生前公に近接し居りたる數百名に對し公爵家より其々片身分を爲たり

▲來春の消防出初 東京市來春の消防出初式は例によりて一月六日と決定したるが例年六十尺の模造家屋の模倣火災は煙火仕掛にて發火せしめたるも明年は消防手數名を樓上に上せて火を放ち第一消防署第二消防署、第三第四、第五と第六、本部と淺草橋の喞筒を四組とし消口を取らせ各組は完全に各面の消口を取りたる上は他方面の應援をなし完全に多くの消防をなし遂げたるものを優者として賞を與へ樓上の救助袋救助網の應用を行ひ餘與には假設消火栓の喞筒應用、別に模造家屋應用の救助袋、避難梯、避難網、使用消火器應用等の嶄新なる技術を行ふ由

▲津太夫と濱太夫 浪華淨瑠璃界の元老竹本津太夫は七代目綱太夫にその門人濱太夫（元の文太夫）は愈よ三代目津太夫と改名し來る一月興行の文樂座に披露を爲す筈

吉凶鏡

本町五丁目 三一館 判

十二月廿三日 舊十一月十一日 九紫先負 丁己執△一白● 障害多し愼重に事を處すべし旅行相談婚姻團体間の事凶△二黑● 一生面を拓く日なり仕官就職相談依賴等効あり礦業冶金の事凶△三碧● 家庭若くは近親の身上につき配慮あり詐言防ぐべし△四綠● 概して康寧の日なり家庭內に紊亂ある勿れ△五黃● 自負誤謬あり速斷輕擧あり△六白● 新見合せの事但し改築土木冶金の事吉△七赤● 模擬替方針替等變更の事吉其他凶△八白● 勝獎の事三省して決すべし失敗あり其他吉△九紫● 中絕離間を惹起する勿れ火の元留意すべし概して不寧の日とす

●取消 拜啓貴紙[illegible]に馬山商業會議所の存廢に就て居留民が目下議論中なりと掲載相成候へ共當地に於ては會議所議員及會員間に於てはかゝる議論など更に無之全然無根に就き右記事御取消被成下度 月十七日 馬山商業會議所 京城新報編輯部御中

●天氣豫報（自廿二日午後六時至廿三日午後六時） 北東の風晴後曇 廿一日（華氏） 最高溫度 三六、九 最低溫度 二六、二

廣告

勅題模様（新年の雪）牛ゑりふくさ

歳暮御進物用適當品荷着

明治町一丁目 エリ徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所

●求職 昨今渡韓の青年拾九歳事務員又は商家に雇れたし氏名在社（四九〇）

●就勤務 病院又は醫院藥局へ ケーヂー生（四九三）

年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物産京城支店

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廊下二階六疊二間廻椽井戸物置湯殿付家賃面談 氏名在社（四七八）

●貸家 北部齋洞廿九の四貸家あり宮内府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ賄並上候

●貸家 京城吉野町間數四間湯殿付官吏又は會社員向希望者は電七四番へ

●電話譲渡たし 氏名在社（四九六）

電話付き貸間あり 南山町二ノ一〇一 福井

廣告

京城勸商場新築落成

來る二十八日より開場致候間場内店舖賃借御希望の方は勸商場向側下川旅館内假事務所へ御申込ありたし

十二月廿二日

京城勸商場主 三輪唯八

事務員 松川逸丸

折箱製造元

京城明治町一丁目五十番戸 漢城病院下横へ入ル

箱信事 鳥山商店

開院廣告

本院は左記の時間割を以て左の諸氏に依賴し各科の診療に從事す入院の需めに應す

外科花柳病科 診察時間午前九時より正午に至る 前漢城病院長 ドクトル、メヂチーチ 和田八千穂

内科小兒科 同 自午後一時至午後四時 前仁川病院長 醫學士 松村三省

眼科内科 同 自午後一時至四時 東京醫科大學選科卒業 院主 瀧澤喜太郎

耳鼻咽喉科 同 自午後一時至四時（但し毎月四回一日五日十五日廿五日） 醫學得業士 赤羽學

婦人科 同 自午後一時至四時 醫學得業士 天ケ瀬健六

龍山居留民團囑託

龍山榮町（文平山麓）

龍山醫院

石川高等法院判事閣下校閲

今村内部警務局警視閣下校閲

日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集豁然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁〇菊判半截形●定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、宮制、宮規、宮等の級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、檢察署、監獄署の八項に增加し本月一日現行法規として些の遺洩なきは勿論索引を附して見出に易からしめ餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り兇木に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高needsに應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

東京火災運送海上保險株式會社

明治廿年七月創立●資本金一千萬圓●

京城代理店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

三越と商品切手

歳暮贈答品に適當なる呉服太物並に雜貨類取揃へ陳列致居候

商品切手は一圓以上發行致し東京大阪大連の本、支店共通に候へば最も御便利に御座候

十二月

京城本町 三越呉服店 電話三五二

大韓製革所

製造販賣

靴用革 鞄用革 馬具用革 器械用革 精米用磨革

品概目

軍隊用革 帶革 綴物用革 袋革 毛皮鞣

京城南大門外吉野町（葛月里）練兵場北隣

電話九五三 電略（テ）若しくは（됴）

▲忘年新年 宴會は梅の家に限る▼

破天荒の大勉強

どんな少數の御宴會でも粗忙のなきことは梅の家の獨擅ですか、取り分け忘年宴會、新年宴會は破格の廉價で輕便に、氣樂に召上られます樣に御つとめ申上ますから御光來の榮を賜はり度御願申ます

御料理 大和町三丁目（電話七三五） 梅の家

電話開通 一三九四番

鋤燒 御一人前 金二十五錢

此の外何んでも輕便ご安直ごを以て御客樣には極て叮嚀ご親切に御つとめ申上ます故に忘年宴會や新年宴會には何卒御遊旁御光來の榮を賜り度奉願候

會席御料理 京城北米倉町 花の家

特約販賣 自製

漬物 味噌 醤油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

和洋酒、◎精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物、物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽荒物特約販賣御望に依り商品切手調進仕候（電話二五一番）

破天荒の大勉强

▲電話開通千二百九十七番▼

豫て料理の美味ご輕便ご廉價を以て命こして營業致し居る海山亭は今回東京より腕利の板場を迎へ會席御一人前五十錢より十圓迄如何程にも調理致します取り分け忘年新年の御宴會は破格の勉强致します故ぜひ御光來の程願上ます

▲忘年新年と海山亭御宴會▼

海山亭

京城櫻井町 電話千二百九十七番

貨物運送取扱 稅關貨物取扱 貨物引換證發行

危險擔保附運送 品代金付貨物運送

内國通運株式會社

京城支店 京城南大門驛前 電話一七九番 電話七〇八番

仁川出張所 仁川驛前 電話五一一番

釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 電話五一六番 電話六三七番

龍山出張所 龍山驛構内 電話二〇六番

京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島專藏（電話四百十三番）

胃腸消化新劑

澱粉消化 ヂヤスタリン 錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢 散劑一オンス入（一瓶）一圓二十錢

蛋白脂消化酵 グスチンヂ 錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢 散錠一オンス入（一瓶）二圓四十錢

右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥

韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

神戸資生分院

京城梅毒病院

京城相生町（南門湯横）

◎花柳病專門並、痔（注射療法）

●入院隨意●

院長 醫學得業士 蘆田耕平（電話一二九四）

御正月用品着荷

▲御宮堂並に御神前用品一式

▲漆器類一切和洋蠟燭

其他何品によらず一切取揃居候間多少に不拘御注文仰付られ度伏て奉懇願候

●●●●●●●聯合大賣出し加盟店●

荒物世帶道具商

京城本町六丁目

西崎嘉七本店

電話二一〇

日本郵船株式會社 仁川廣告 電話十番

瀛船出帆

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 十二月十九日後三時出

●大連、太沽行 高砂丸 十二月廿一日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月 三日午前六時出

●大連行 酒田丸 一月 三日正午時出

●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 立神丸 十二月廿九日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎艀ニテ御送リ可申候送迎艀ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ヘ事

★株式會社百三十銀行 韓國支店

京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

為替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市、山田、桑名松阪、

東海道 名古屋、半田、熱田、四日市、津、東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、靑森、秋田、能代、七崎、高崎、

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山小郡、長府、網干、

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、門司、久留米、若津、中津、小倉、大分、行橋、後藤寺、佐伯、別府、熊本、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、

北海道 函館、小樽、札幌、

台灣 臺北、臺南、

淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

韓國 本店 日本 長崎市築町 支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山 出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐 其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理（十八銀行京城支店）

株式會社十八銀行 京城支店

京城南大門通（電話四二〇）

資本金 參百萬圓 積立及繰越金 九拾萬圓

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候